いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町四八番地　電一一七六番
編輯兼發行人
兼印刷人　千輝克巳
（但月曜を除く）
定價一ケ月十円一部五十錢

設計請負
平土地住宅
有限會社
社長　正木昌次郎
平市田町
電二〇五番

消防團問題惡化

軍政府と縣へ陳情・
選擧には棄權で意志表示

消防團結成を直前に控へ正副警防團長を除名した問題は愈々險惡な空氣をはらみ、街には「火の元用心！火氣に注意」などの警告文に加へて「關內團長、內木、白土兩副團長除名絕對反對」のビラが隨所に貼られ、舊警防團幹部の決議をもたらし代表者會見、更に團員二百二十余名連署の陳情書を米福島軍政府と縣知事へ提出するため代表者出福、正副團長選擧に本部及び第一、二分團こぞつて棄權して意志表示し、四日には市民大會を開いて實情を訴へる計畫が發表され、鈴木市長及び消防委員會ダンガイの空氣濃厚となつた

團員有志大會
市長へ決議文手交

消防團員の辭令は二日までに遲延れたが情報通り關內、內木、白土の正副團長には發令無く、然も辭令を受けた翌三日には選擧を執行するというスピードぶりに驚いた團員は二日午後二時から本部に團員有志大會（舊警防團幹部）を開いて協議の結果、代表者二十余名擧げて市役所を訪問鈴木市長に決議文を手交一問一答した

決議

平市警防團の組織に當り吾等團員に納得出來ぬ點多々あり、昭和二十二年十月二日緊急團員有志大會（舊幹部）を開催、過半數を以て左の決議す

一、今回の消防團組織に不審の點あり三日行うべき團長副團長の選擧は延期されたし

一、舊警防團より提出した團百三十三名の舊團員名簿より關內團長、內木、白土副團長を除名したことは納得出來ぬ、理由如何

一、消防委員には原則的に警防團長を加へると聞くが關內團長を加へない理由如何

この決議に對し鈴木市長は委員に警防團長を加へる理由はない、學識經驗は市長の見方で誰れを任命しても勝手だと突き放し、第二項の名簿より除名は委員會の決定だと逃げ、選擧期日延期問題では「警察から六日までに決めるべしと申達あり、これは進駐軍からの話だと聞く」と讓らず、辭令を二日くれて三日にせん擧すると民主的でないと強硬に談じたが結局物別れとなつた

署長の申出も無視

白土副團長の語る處に依ると、消防團結成に關する四市警防團長會議（郡山）では警防團長を消防い員に加へることに申合せ、平警察署管內の團長會議の際も本田署長から原則的に現團長をい員に加へるようとの話で申合せが決定し、平消防團結成に際しては、監督權のある本田署長から關內團長をい員にし內木、白土兩副團長も經驗者であるから臨時い員に加へられたい

と事前に申出であつたのを鈴木市長は全然とその意見を無視したものといはれている

四日一時から市民大會
市長ダンガイに發展か

市長と會見を終つて本部へ引上げた團員有志代表は結果を報告し、更に警防團幹部會（消防結成まで解消せず）を開いて協議の三日のせんきよはあまりに急迫しているため對策の方法ないため、反對を意志表示するため棄權する事に決定、頑迷なる市長では解決の道無しと福島軍政府及び縣當局に陳情する事になり、本部及び第一、二兩分團員二百二十三名の同意署名を得たので二日午後七時オート三輪車で代表者三名出福した

更に全市民の余論に訴へて非政をきゆうだんするため、四日午後一時から三丁目元福島モーター跡空地に市民大會を開くことに決定したが、市民の間にも今回の鈴木暴政を非難する聲が昂つているから市民大會に依つて消防團員の要望が市民の手に移され、市長及び委員會ダンガイに進展するものと見られるに至つた

パンとケーキ
タイラベーカリー
平製パン工場
平市銀冶町二七番地
電話一一一2番

常識では判斷出來ない
赤津前縣議語る

三日朝本社を訪問した前縣議赤津庄兵衛氏は「新聞を見て驚いた」と次の如く語る

敗戰後のこの疲弊し切つた平市の復興は一に市政を丸くおさめることである、喧かをしていては復興どころか益々窮乏に陷るばかりと思う、關內團長は名團長でありとの人をやめさせた鈴木市長はどう云う理由か知らないが常識では判斷出來ない、こんなやり方は實にまづい、何とか圓滿にやつて行く樣に希望する

無言の抗議
正午迄に投票二名

消防部員有志代表の選擧延期決議を無視して市長は時間的余裕を與へず、三日せん擧を强行した爲、團員は目標なしと無言の抗議することになり別項の如く棄權の決議をしたが、流石に統制ある警防團だけに第一投票場警察會議室は午後一時までの投票はタッタ二名に過ぎず、し長派は全部入れると見ても十票內外に止まり、本部第一、二、分團二百八十余票中二百七十名位棄權を豫想されていた

第三分團は松本一派の狩場しで同時刻までに七十二票入つた

小沼課長辭職
市役所內部動搖

平市復興課長小沼德彌氏は去る二日鈴木市長に辭表提出して退職したが、同氏の退職は鈴木市政においそをつかしたもので、次のように語る

荒廢し切つた平市の復興事業は市政が圓滿に行はなければ到底覺束ないいかんながら鈴木市長は黨利黨略にのみ重點を置き公平な市政を執行することが出來ない人のようなので、われ／＼馬鹿正直な技術屋は調子を合はせて行くことは不可能だ　永年の役人生活中こんな不愉快な上司に使はれた事は初めてである

縣炭協へ泣き込む
宮城縣大內炭鑛の勞務者連が

宮城縣伊具郡大內村大內炭鑛坑夫阿部末四郎さんほか一名が去る二十六日市內田町縣炭協に自分達のヤマは監獄部屋同樣、十時間勞働で不當なし女子坑內就業も依然行われていて福利厚生施設どころか風呂等も男女混浴といつた有樣、それに勞組をつくろうとすると社長がつくらせぬから救つてくれと泣き込んだ原涉外部長が即時二十七日から二日間に亘り詳細調査の上、社長とも交涉の結果今度漸く勞組をつくらせることに話がまとめられたので全鑛では大喜びでいる、なお全鑛は月產千トンに滿たぬ亞炭の小ヤマである

トヨダの祝賀會

福島トヨダ販賣株式會社創立一週年記念祝賀會は一日午前八時から新川町平支店に開催、從組代表の祝辭に續き、ピンポン大會と演藝大會あり盛會裡に午後四時閉會した、ピンポン大會優勝者左の通り

◉ピンポン大會一等菊地、二等本阿彌三等相澤、五人抜き相澤、羽田、三人抜き渡邊小野田、瀨谷、渡邊

なお賞品百五十圓は從組の總意により水害見舞金として本社に寄せられた

教育映畫

縣教育映畫移動文化班では四日午後六時から平第三小學校講堂で映畫會を催す

小田鑛勞組　水害地救濟

好間村小田炭鑛勞組では今般の水害の甚しいのに同情、汗の結晶の賃金の一部を割つて金九千九十圓を捻出して三日本社を通じ水害地見舞金にと市へ寄託した

讀書クラブ生る

親睦をはかるとゝもに從來書齋にのみ閉ぢ籠つていた讀書人を街頭に進出させて、地方文化の啓發に一役つとめさせようと今度平市マルトモ書店の肝いりで平讀書クラブが生れることになつた目下希望者を募つている、會費は月七圓で會員には日本讀書新聞を無料で配布又隨時座談會や講演會音樂等を開催しようとのもので期待されている、なお規約や申込書はマルトモ書店に申込めばよい

常磐鑛婦人部

常磐炭鑛婦人部では三日午前十時から市內常銀樓上に、職場の民主化と生活の合理性等に付いて種々協議同時に役員のせん定なども行つた

民報論壇
市政破壞者は鈴木市長

終戰以來われ／＼市民の生活は衣食住何一つ足るものなく窮乏生活を續けて來ている、この市民生活に最も重要な市民の父であるべき存在は市長である、隨つてわが鈴木市長の在り方は市民の一人／＼を子供と同じ甲乙の差別をつける事を許されないのである。どの子にも同じ愛情を以つて當らなければならぬ。鈴木氏わ過ぐる市長せんきよの際絕對數を以つて當せんさした市民の氣持は斯うした處にあつたのである兎角の批評を持つ鈴木氏が花も嵐も踏み越えて早や七十才の老齡に達したので過去の邪心を捨てて正しい政治を行つて、その有する處の敏腕を縱橫に振い、疲弊し切つた平市の爲めに大きな貢獻を齎すであろうと云う期待は大きかつたのである

然るに市長のいすについて見た處、市經濟も思うにまかせず往年の手腕力量は何處に去つたか。環境の然らしめる處もあるだろうが、あまりパットしない老市長と化している、それでも市民はやがていゝ政治を布くものと期待を捨てなかつたのである。

處が今度の消防團幹部の除名問題でその期待は完全に裏切られたのである。市民の失望と驚愕は想像以上である。卽ち鈴木氏が善政を布くと思つたのがそうでなく、市の自治体を混亂に導く事と、自派の勢力擴大のために日夜狂奔して眼中市民なき事を天下に暴露したのである。

市長は云うであろう「何も惡い事をしない法規の範圍內でやつているので違法でない」と、勿論われ／＼は今回市長のとつた措置は違法ではないだろうが、法律規則よりも尙い地位を占める道義を無視した責任を追及するのである。道義なき世は暗黑の世界である。放蕩無賴の徒でも案外道義は重んずるものである。日本の民主化は愛と道義によつて築かれるのである。一市の長がこの最も大切な道義精神に缺けて居つては市政を安んじてまかせる事が出來ないのである。「天の利よりも人の和」これが自治体に絕對に必要である。自ら求めて人の和を破壞する鈴木市長こそは自治精神を沒却した市政破壞者として永遠にその汚名を殘すであろう。（田原）

いわき寸言

▲橫車とは鼻曲りの乘りもの、マトモな人間の乘るものにあらず

▲公私を混淆するところに爭因は常に潜むと知るべし

當選御禮
今後とも何分の御引立をお願い申上げます

平市衣料品配給店（順不同）
三井呉服店　電三一八
齊藤呉服店　電九八六
吉田屋呉服店　電一二二
マサゴヤ洋品店　電四六
紙屋呉服店　電二五六
仙台屋呉服店　電一一七
小野榮呉服店　電五一五
大黑屋洋品店　電七八三
まつや呉服店　電一六八
山吉商店　電一〇三
なかや洋服店　電二〇三
諸橋呉服店　電五〇
株式會社川又商店　電三九四
イワキヤ洋品店　電四三七
渡邊呉服店
北川呉服店　電三九四
谷屋呉服店　電四三七

社員募集
一、發電所工員、事務員、給仕　數名
（一）男子ハ三十五才（扶養家族二名以內ニ限ル）女子ハ十七才迄ノ身体強健ナル方ヲ望ム
（二）申込受付ハ十月十日迄トス
（三）有希望者ハ履歷書持參本人來所ノコト委細面談ス
平市五丁目二〇　東北配電株式會社平營業所
若シクハ最寄配電關係業務機關

急讓
四倉驛前倉庫 コンクリート建、建坪九二坪
土地一九三坪付　委細面談
他に材料倉庫、單相變壓器（五〇K）その他金物材料あり
モータトランス
製造 並に 修理　電機工業株式會社
福島縣石城郡四倉町原田二八〇

古文書紙上公開　27

飯野文書解說

猪俣金五郎

二七盛光の子孫（二）

宇津峰の落城に先立つて、吉良貞家が、光長の戰功を賞した推擧狀がある。

伊賀孫次郎光長申恩賞事光長親父盛光爲最初御方年來致軍忠候就中去年（觀應二）十月顯信以下宮方蜂起之刻馳參於名取郡廣瀨河致軍忠候畢隨而光長亦今年七月三日田村庄柄久野原合戰以來於矢柄宇津峰等抽戰功之上著下預恩賞彌可勵忠節之旨令言上候早速可有申御沙汰候哉光長軍忠若僞申候者八幡大菩薩御罰（於）可罷蒙候以此旨可有御披露候

恐惶謹言

文和元年十二月十五日

右京大夫貞家（花押）

進上仁木兵部大輔殿

「伊賀孫次郎光長、恩賞を申すこと。光長の親父盛光最初の御方として、年來軍忠を致し候。中んづく、去年十月、顯信以下、宮方（南朝方）蜂起の刻、名取郡廣瀨河に馳せ參じ、軍忠を致し候ひをはんぬ。隨つて光長、亦今年七月三日、田村庄、柄久野原の合戰以來、矢柄宇津峰等に於て、戰功を抽んづるの上は、恩賞を下し預り、いよ〳〵忠節を勵むべきの旨言上せしめ候。早速御さ汰有り申すべく候や。光長の軍忠若し僞り申し候はば、八幡大菩薩の御罰を罷り蒙るべく候。此旨を以て御披露あるべく候。

又別に年號のない消息文が一通あるが、其の內容からして、此の軍忠狀や推擧狀に記された戰陣から送られたものであろうかと見られる。前半は事務的のものであるが、後半は興味の深いものであるから此處に抜き書きする。

（前略）且又あわびかつを給了當陣に大切候悅入候のり同悅折から如此物等便宜之時者可給候御子息御當軍候間は細々申承候恐々謹言

七月二十日　駿河權守（花押）

謹上伊賀三郎左衛門尉殿

「且又、あわび、鰹給はり了んぬ。當陣（陣中生活）に大切に候。悅び入り候。海苔、同悅。折から、かくの如き物等、便宜の時（便りのある時）途、給はるべく候。御子息、御當軍（在陣）候間は、細々（再々か）申し承はるべく候。恐々謹言。」

陣中へあわび、鰹、海苔等を贈つたので、その禮狀である。「駿河權守」の下に名前が書かれているが、明瞭でない。恐らく石川氏に違いない。盛光に宛てた消息であるから御子息と言うのは光長か誰かであろうが、光長ならば、藏揭の軍忠狀によつて、觀應三年（正平七年）六月二十一日、吉良の軍勢に馳せ參じて、七月の上旬には、柄久野其の他で戰功を立てた事が分るから、此の消息の七月二十日と言う日附に合致して來る。平通り地方の戰陣に、魚貝類が喜ばれた事は十分推察出來る。光長の弟光政も從軍して著到狀を殘している。

伊賀肥前守盛光代子息左衛門三郎光政申

右名取御陣馳參候府中並高淸水御下向供奉仕候者也然則然後代龜鏡着到之狀如件

貞治二年九月晦日

承了（花押）

「右名取の御陣に馳せ參じ候。府中（多賀）並に高淸水（仙台市附近）御下向に供奉（從軍）仕り候者なり。然れば則ち後代の龜鏡の爲、着到の狀件の如し。」

正平七年後多賀國府は北朝方に占領せられていたのであるが、貞治の頃誰がいたかは分らない。名取の陣と言うのも明瞭でないが、恐らく仙台市の南、名取川附近であろう。

鎌田地藏尊由來記（上）

―唐傘連判狀百姓一揆―

志賀傳吉（神谷村）

平市の町端づれ古い鎌田橋を渡らうとする時左脇に小さな地藏様が在る。元文年間の百姓一揆と此の地藏様について郷土史や里老の傳說を參考として左に其の概略を述べ道儀癈れた當世の龜かんとしたい。德川三百年の諸藩統治の政策の一つとして常に各藩を經濟的に余裕を與へなかつた。元文年間の百姓一揆も此の政策の影響を見逃す事は出來ない事實で有る。まして君主に愛憐の情無ければ其の統治下に在る者堪へ難く、況や民の膏血をさらひ己の奢侈に共したる松賀等の惡政を施すに於ては竹槍筵旗の一時に蜂起する事何等怪むに足りない。享保十年十月幕府は內藤氏に命じ下野國鬼怒川の內渡瀬川の修理を命じた。重臣相議し藩內に命じ百石には壹兩を課し其の費用に充たした。同十六年四月には日光廟の修繕を命じ、十月是を完成したが、惡政續きの內藤氏には內庫錢穀に乏しく、更に百石に付き二兩を課した、藩士も又知行の半を減じたのである。內藤氏の苛税は是れより初まつて元文三年正月には內藤治部左衛門、全舍人中根喜左衛門、平松金右衛門の各重臣相議して是より七年間人夫金として百石に付き一兩三分を課した、八月は第一納期なるも納税不充分にして九月初めに諸組代官嚴しく催足した。從來戶障子、襖、疊に至る迄か税されて來た上に又此の苛税は果し難く、百姓は物議囂然比々踵を接して祈願せしも藩吏は少しも省みる事無く、けん責或は投獄を命じたために百姓は此の苛とくなる誅求に堪へず、額を聚めて私語し相共に其の苦難を免かれん事を計つたのである、大化の改新以來農民は常に地方豪族或は武士に搾取を欲しいまゝにされ虫けら同樣唯農奴として社會構成の犧牲者とされてゐた。然るに德川時代の文化の發達は獨り武士階級にのみとどまらず農民も人間なみの生活權を要求する情勢押へ難き世相と成つた。然るに重ね〳〵の農民を困却する惡條件は遂に爆發し、何人の書き擱したるものか元文三年九月俄然げき文一通、封內を周廻し九月十七日辰の上刻を期し、七萬石の惣百姓領主へ十八ヶ條の願を掲げ平城に押寄すべき事を通達した急に、東は鎌田口より五千人、南は谷川瀬口より三千人、白土口より三千人、西は長橋口より二千人、北は平窪口より三千人、好間口より四千人余、其の惣勢二萬余人と云う（亂民記には八萬四千六百余人と記す）各村毎に標記を掲げ螺を吹き、なた大槌を振い大擧して城下に押寄せた。其の勢驟雨の驟を過ぎ怒潮の砂を捲き旋風の天に冲する勢であつたという

これこそ本當に生きた教材

鈴木ミヱさんの美擧

人情紙よりも薄しとかこたれる昨今これはまた美しい話ー

この話の主は市內田町の產婆さん鈴木ミヱさん（四五）とは八月はじめのこと平えき前交番に勿來までいく途中だが急に產氣づいて困つたと泣き込んだ夫婦ものがある。宮城縣氣仙沼町品田キヨさん（三四）で夫留藏さんが勿來町に瓦職工として出稼ぎしているので、それを尋ねて平えきで夫と落合つたが、汽車に長くゆられたゝめか、突然產氣づいてしまつたものとのことで、巡査も困つて前記鈴木さん方に手當を賴んだところ心良く自宅に收容即座に女兒を分娩させたところが夫留藏さんは三日程ついていただけで姿をくらましてしまつた。だが鈴木さんは心配してはいけぬとキヨさんを勵ましつゝ、勿來を始め心當りを留藏さんヤーイと探ねたが、何處に雲隱れしたか留藏さんの姿はなく一方キヨさんは心配その他から產後の日經ち惡く五十余日も產褥の人となつてしまつた、然し鈴木さんの篤い看護で漸く床を離れることも出來たので、五千余圓に達する一切の費用をポンと捨ててその上去月二十二日助手の松崎さんを附添せて旅費まで與へてキヨさんの實家へ厚く送り歸してやつたというもの、平署でも感激何とかこの美しい行爲にむくいたいといつている

市からお願い

一日現在で行れた國勢調査に當つて來た調査表を提出していないものがあるが、右は市が一括取りまとめて十日までに縣に提出しなければならないから五日までに間違いなく市に提出、萬一調査表配布を受けていないものは速かに調査員までに申込まれたいと望んでいる

將棋十月例會

平將棋互樂會の十月例會は五日午前八時から五丁目將棋會所で開く豫選勝者は全部にA賞を又本戰勝者四等まではB賞を出す、會費は三十圓で辨當持參である

皆樣の御靜養に
湯治藥湯　再開
早朝より
平市城山　聚樂園

小名濱農地特列委員會

小名濱町農地委員會では四日午前八時から特別委員會を開催し承認決定斡旋諸問題を附議する、特に自作農創設の手續上にからみ小作人を度外視、自已の利益のみ追う地主側の不法行爲についても協議する

鐵道ク慰安會

平鐵道クラブでは三日晝夜二回民衆劇場で家族等を慰安のため演藝會を開いたが、明四日も行う、なおニューヒバリ樂園も出演

ハサミ
カミソリ　研ぎ
バリカン
直龍軒
平市南町五〇

文化

平市內映畫館の現設備に就いて

①

古河炭鑛　熊谷功

各館のアラ探しでもないが、平市內の映畫館三つの設備を平等に檢討したいと思ひます別に惡氣でなくよりよく氣分滿點で見たいと思ひ、又大方のファンと恐らく同じ感じだと思はれますので、この文を草します先づ

聚樂館

この館の特色は惜しげなく館の改築いすの改修をした點にあるとおもひます。それに間じくして映寫の明るさトーキーの完全全く經營者の良心が伺へて何より氣分がよく思ひます。而も經營は決して樂ではないのは何としても殘念です。平より小さい若松でさへ立派に洋畫專問でやつて居るのに何とも仕方のない次第ではありませんか。今度セントラル、エクスケチエン、セクケヤチエンが出來たことは非常に喜ばしい事だと思ひます。今後の奮闘を祈ります。

ミシン
販賣・修理・部品
平二丁目シンガー
イシカワ

平市五丁目
釜屋商店

裁斷十回（日曜）講習會
一內容　婦人子供服（數種）下着類、男女兒通學服、ブラウス、スカート、ズボン類、スーツ、オーバー類等
一講師　加藤宣子その他
一日時　十月五日ヨリ毎日曜　九時＝三時
一會場　平市舊城跡　城山會館
一會費　百五十圓
一申込　城山會館　十字洋裁學院
◉…內容ノ御問合セハ郵券返信料封入ノコト
◉…所持品、鉛筆、ノート、分度器、ものさし

高級ライター
數種入荷
斯界の最高ポイント
高級プラチナ萬年筆
販賣中
門馬年筆店
▲修理は親切丁寧に▼　平市三丁目電三九九番

絕讚！磐城の映畫界を席捲して感嘆の聲止まず
名聲を名聲たらしむる第二イワキのイデオロギー
萬雷の拍手に應へて
堂々の上映中　六日まで
クーパー・デイトリッヒの
モロッコ

續くアメリカ映畫の傑作！
月桂冠の一升ビンを片手に提げて
アメリカの港々に放浪する
我等のジャンギャバン
ジャンギャバン・クロードレインズ
アイダルピノ・トマスミッチェル
二十世紀フォックスの超大作
七日より十三日まで
夜霧の港

モーニングショウ　8日12日
午前九時―午後十一時
東寶映畫の最大傑作篇
銀嶺の果て
內鄉　第二イワキ

會員募集
平讀書倶樂部
規約書、マルトモ書店にあり會員數に制限ありますから御早く御申込下さい
マルトモ書店
平市四丁目　電話三四番

當選御禮（同不順）
內鄉町衣料品配給店
柏屋商店　緞藤棚
永井商店　緞藤棚
近野商店　金坂
直井商店　宮町田
牛久商店　宮竹之內
佐藤商店　金坂通
荒木吳服店　金坂通